

A N A N

発行人●阿南町公民館編集部 編集人●公民館報編集委員会 印刷所●飯田共同印刷株式会社
連絡●〒399-1511 東條58-1 TEL 22-2270 FAX 22-2287
E-mail:kyouiku@town.anan.nagano.jp

Contents	
P1	表紙 遊歩道
P2	帯川の話 (西尾実 著)
P3	ANANフォトコン結果・募集
P4	あなん情報発信局 (夏の阿南町特集)
P5	あの人この人 あなんNEWS
P6	お知らせ・編集後記



遊歩道

公民館活動の目的は、住民が主体的に様々な活動を行うことで互いに学び合い、その成果を地域社会に還元すること。コロナ禍、活動は停止し、いまや人口減少により地域コミュニティそのものがチラホラと存続の危機を迎えつつある。

地域コミュニティの消滅は、個人や家族単位では解決できない子育てや介護・看護、虐待・非行防止、貧困対策や社会的弱者支援、孤立・ひきこもり防止等、地域単位の共助、隣近所の相互扶助に支えられてきた生活共同体としてのメリットをそのまま喪失することにつながるのだ。多様な地域文化や郷土色、観光資源が失われ、祭りや年中行事、街並みや歴史的伝統のある有形・無形の資産は、地域コミュニティが維持し次世代に引き継いで来たものなのだ。町内でも祭りじまいの話を聞く。

隣近所の顔がわからない時代：寂しいかな、これはもう都会だけの話ではない。せっかくこの町に来てくれたのだから、楽しい公民館活動で地域を元気にしたいものです。

著作 西尾 実

おびか

帯川の話

「帯川の鮎」前編

これは、わたしの郷里、伊那谷の奥を流れている帯川の鮎の思い出である。わたしの青年の頃の自慢話・得意話で、わたしは全国各地の鮎の話を知ると、自分の方からは、この話を持ち出さないと気が済まなかった時代がある。

帯川の前の谷を流れている川は、帯川から三里ほど南の山の中を水源地とする売木川が山中を一里ほど流れて日吉川となり、さらに山谷を一里流れて帯川となり、帯川からまた半道ほど流れ下ったところで、山の向う側をながれてきた和合川の下流の中川と落合で合流し、和智野川となって断崖絶壁の下を流れ、和智野の村はずれを流れて、天竜川に流れ入っている。

天竜川から和智野川へと上ってきた稚鮎は、帯川と中川が合流して、落合の淵へ流れこむ地点が大きな岩盤をなして、急流激湍となって流れ下っている所へさしかかる。毎年五月、若葉に両岸が覆われた清流に稚鮎がむれ集って、この滝をはね上り、岩盤の上を流れる急流に吸い込まれるようにして上って行く。その鮎の群のようすによって、その年の鮎漁の

よしあしが占われるというので、落合川にかかっている黒く塗った大橋の欄干に凭ってこの稚鮎の滝上りを見にくる人が多い。

この稚鮎が身軽に跳ね上って、急流に吸い込まれるように身をひるがえして、まっすぐ急流を泳ぎ上る見事さは、ただ一点の光となって、泳ぎのぼるすばしっこさである。それから五月六月と、あるいは道下の清流の淵瀬を超え、あるいは低い川端や畑の前の淵瀬を群れ上って、流れの中の石や砂地の水垢に養われて、鮎釣りや大川干しの珍客としてもはやされるようになる。

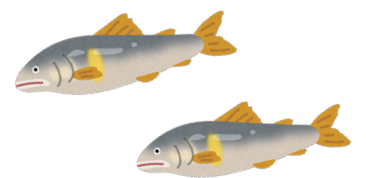
わたしたち少年は、太吉淵で泳いだり水遊びをしたりして、向岸の砂地の上で日光浴をしたりする。毎日放課後になると、日課のようにわたしたちは太吉淵に集る。この太吉淵の水にも少し慣れてくると、その川端の石を伝って片平淵まで下り、またそこで川の片側をゆるやかに流れている砂地を選んで水泳を試みたりする。

そういう二つの淵の間を往復する途中で、わたしたちは、大きく育った鮎が、背ひれの辺りを黄に光らせながら、太吉淵の水が山際の岸壁に狭められて、急流になりかかったあたりのところどころに一定の位置を占めて、上流から流れてくる餌を待ちかまえているかのように佇んでいるのを見る。晴れて日光が輝くころだと、その鮎の影が底の砂地の上に写っ

て、見事な鮎の停留ぶりである。もちろんこういう光景は川岸の石から石を伝わって歩くわたしたちだけの観察であるが、わたしたちも自然にそういう鮎の姿勢を乱すまいと、そっと見て通ったものである。鮎を釣る人はこういう場面に友釣の友を放つのであろう。

下り鮎の時期になると、帯川の人々は、協力して大川干しをする。大川干しのできる場所は瀬次場の前の川との分れる所と、帯川の村はずれで大川を二つに分けて、一方は下りの川原から根土地の畑の前を流れ下り、一方は早稲栗の田の灌漑をして落合の少し手前で大川といっしょになる辺りである。

八月になると、帯川の人たちは、総出で川干しの作業にかかる。まず大川を塞ぎ止めて、その流れを瀬次場の前の川に集める。この工事は、経験のある元気な年かきの人たちの仕事で、水の中の大きい石と石との間に材木を沈め渡し、その上や隙間に木の枝をさし渡す。そうして、水勢をやや斜めに瀬次場側に導いた後、用意してきたむしろをかけて、なるべく



水の洩れるのを塞ぎ止める。この作業になると、裸になって、水の勢いと闘いながら、むしろを立ててゆくので、なかなか困難な作業であるが、慣れた人々は、今日の川干しの決定

と楽しそうに力闘している。

こうして、塞ぎ止めると、大川の水は浅くなって、いろいろな魚が掬いやすくなる。けれども、元から淵になっているところは、なかなか深く、鮎や「あめの魚」などはその淵の底に沈みかくれている。こういう敏感な魚を淵の水面に引き出すために、いわゆる毒をふむといって、朝から若い人たちがぐるみの根を掘り、コハゼの実を集め、ねむの葉を入れて臼でつき、それを小さな俵にいれて、淵の水の入口に沈めて足で踏む。すると、この黄色な水が淵にゆき渡ると、まず鮎が水面に跳ね上る。淵の周りで、くさでを持った人たちが、争ってその跳ね上がった鮎を掬い取る。中には、淵の深みに跳び込んで、掬った鮎のくさを高くさし上げている元気者も現れる。水面に敏感に跳ね上らないでも、鮎はことごとくといってよいほど、ふらふらとして水面に浮かんでくる。それを掬い上げるのがこの日の一番楽しい場面である。

令和6年度 ANANフォトコン 受賞作品



令和6年度 ANANフォトコンにフォト部門 22作品・Instagram部門 45作品の計67作品の応募があり、Googleフォームでの投票を行いました。たくさんのご応募誠にありがとうございました！

フォト部門 最優秀賞



紅葉にさそわれて

Instagram部門 最優秀賞



夜明け

フォト部門 優秀賞



夏夜の華

Instagram部門 優秀賞



ひとやすみ

B&G賞 (Instagramいいね数)



名残雪とキジ

ANANフォトコン2025 募集!

🌟📷 **#ANAN フォトコン2025 開催中!**

見つけた! 残したい! 伝えたい!
あなたのお気に入りの風景などを応募しよう!

🏆 副賞賞品あり!

🕒 締切は令和8年1月30日まで

📷 Instagram応募は「#ANANフォトコン2025」をつけてSNSに投稿するだけ!

フォト部門は写真を現像してチラシ裏面の応募用紙と合わせて送るだけ! みなさんの一枚、楽しみにしています♪

詳細は阿南町ホームページをご覧ください。

主催
阿南町公民館

ANAN フォトコン 2025

募集期間
2025.6.13 ~ 2026.1.30

フォト部門

写真を現像して応募!

裏面の応募用紙に必要事項を記入し作品の裏側に貼り付け郵送または教育委員会窓口にお持ちしてください。
※応募写真は2025年1月1日以降に撮影した写真のみが審査対象となります。

Instagram部門

①公式アカウントフォロー
[anano anan.chou]

阿南町で撮影した2025年以降の撮影の写真に、**【#ANANフォトコン2025】**を付けて投稿し、**【写真タイトル】【撮影年月】**も記載して投稿をお願いします。

ANAN情報発信局

阿南町B&G 海洋センター

B&G

6月28日(土) OPEN!

(~8月31日(日))



SUP!

・今年の夏は『SUP体験会』『ナイトプール』
『無料開放』などイベント盛りだくさん!

・施設内の一部もリニューアル!

阿南第一中学校の皆さんによるシャッターや更衣室のマットデザインにも
注目! ロビーも過ごしやすくなり、より楽しめるスペースになりました。



夏に教えます



オススメポイント

地域おこし協力隊員の高橋裕太さんによる
ダーツ! や水泳指導! などなども行えます!



阿南化石展示館 (かじかの湯)

夏に空調の効いた涼しい施設で一休み! 温泉でゆったりと過ごしたあとは化石展示館の
フリースペースで一休みもよし! 展示スペースで化石に触れるのもよし!
ワーキングスペースとしても利用できるので課題に仕事に打ち合わせにも◎

イベント開催

水引ワークショップ

7月30日(水)



阿南町

百夏の過ごし方

2025

阿南町のお祭り予定

- ・ 深見の祇園祭り — 7月26日(土)
- ・ 和合の念仏踊り — 8月13日(木)~16日(日)
- ・ 新野の盆踊り — 8月14日(金)~16日(日)
- ・ 早稲田人形浄瑠璃 — 8月24日(日)



おのこの人

大下条 田上

くまがい
熊谷 恒佑さん
こうすけ



現在、飯田消防署救助係で勤務されている熊谷恒佑さん。先日、日ごろの業務で感じた事、気づいた事を発表する飯田広域消防本部内で行われた「消防職員意見発表会」で最優秀賞を受賞されました。人助けをする仕事に就きたいという想いから消防士となり多くの活動をする中で深く印象に残るのは、令和3年の熱海土石流災害、令和6年の能登半島地震、それらの際

には緊急消防援助隊として派遣され、自然の前では人間なんてちっぽけだな と思わされる程の悲惨な光景を目の当たりにし活動されてきました。10年程前神奈川県伊勢原市で消防士だった恒佑さんですが、家族の事情でUターン、阿南町役場に勤務されていきました。が、飯田広域の受験年齢拡大を知り、一度は諦めた「地元での消防士」という想いが再燃しチャレンジ。今に至っています。ご存じの方も多いと思いますが、三つ子ちゃんのパパでもあります。母体も子どもリスクがあると言われてから早5年。そんな心配など吹き飛ばすくらい大きく成長した子供たち。「元気で無事ならOK！」も少し大きくなったら米作りや野菜作りを一緒にやるのが楽しみみのようです。何より今があるのも、知らない土地に一緒に来てくれ、転職も後押ししてくれ、そして人一倍大変な出産と育児。奥様には感謝してもきれないそうです。「奥様の機嫌が良ければとりあえずOK！」お茶目な一面も覗かせる消防士さんです。

あなん NEWS

7月13日

万博で念仏踊り上演

7月13日午後1時〜5時、大阪・関西万博で「南信州民俗芸能フェスティバル」が開催されることになり、和合の念仏踊りも上演されます。

「四季を通した南信州の民俗芸能」をテーマに、一年を通じて行われる様々な伝統芸能を、映像や一部は実演で紹介する企画です。

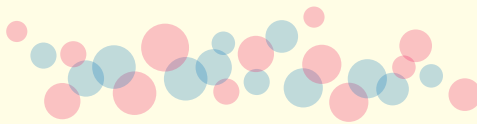
春の部は「大島山の獅子舞」(高森町)、夏の部が「和合の念仏踊り」、秋の部は「清内路の手作り花火」(阿智村)の映像、冬の部は「遠山の霜月祭り」(飯田市)という構成です。

南信州で昔から続く暮らしのひとこまが、未来社会をテーマ

とする万博でどう受け入れられるのか楽しみみです。和合念仏踊り保存会長の平松三武さんは、「南信州に伝わる民俗芸能の魅力を広く発信する場となる。地元の皆さんにも、地域の良さを理解して誇りに感じられる機会となれば」と話されています。



写真は、会場となるフェスティバル・ステーションの内部と外の様子です。大阪在住の知人が動画を送ってくれました。



阿南ツイーンズ

長野県学童軟式野球選手権
春季大会南信大会に
出場しました!



総勢15名の選手と数少ないクラブですが、野球を通じて何かを得ようと、一生懸命に声を出しています。地域の方、保護者の方、いろんな人の支えに感謝して僕たち私たちは一戦一戦を大切にしていきたいと思います!!

Instagram "twins.anan" にチームの活動を掲載しています。
責任者 木下 隆
監督 城田 克吉
コーチ 佐々木 博志
松澤 竜太郎
石田 将之
佐々木 博也
相原 祐也

三種あなんバレーボールクラブ
県大会出場!

全日本バレーボール小学生大会 長野県大会へ阿南町から大下条小6年平沢祐里菜さん、富草小6年熊谷花奏さんが出場します。2人は三種あなんバレーボールクラブに所属し他校の児童と合同で練習を積み重ね今回見事県大会へ進むことができました。



おしらせ

令和7年度

B&G海洋センター

今シーズンもオープンしたB&G海洋センターですが、開館時間に変更があります。現在、学校の授業でプールを利用しているため、平日時の一般利用の開館時間を変更させていただきます。

平日開館 (一般開放)
午後4時〜午後7時

土日祝日・夏休み期間
(7月25日〜8月22日)
午前10時〜午後7時

休館日
毎週月曜

(祝日の場合祝日の翌日)
イベント情報を町SNS・プール施設内において周知させていただきます。ご理解の程お願いいたします。

7月26日(土)

主催 和合夏祭り実行委員会
会場 和合川と和合小学校周辺
内容 川遊び・流しそうめん

午前 川遊び・流しそうめん
午後 魚つかみ・焼肉会

参加費・日程詳細・お問合せ等は和合夏祭り実行委員会事務局(和合小学校内) ☎241-2852までお願いします。

公民館なんでも掲示板



熱中症対策

最近の夏は昔より暑くなっていると感じます。5月頃から25度超えの日があったり、梅雨が明けると30度超えが増えてくる。最近では30度を超えるのが当たり前で35度を超え、40度に迫る日があったりします。夏日、真夏日、猛暑日、酷暑日などと呼ばれています。最近では地球沸騰などと言われ世界中が最高気温を更新しています。昔は熱中症という言葉がなく熱射病や日射病と呼ばれていました。

令和7年6月1日から企業でも熱中症対策が義務付けられました。30度以上の環境下で連続1時間以上また、1日4時間以上の作業環境が見込まれるときは熱中症リスクが高くなります。十分な水分補給やファンなどで体温調節しましょう。また高齢者や子どもは重症化リスクが高いので十分注意して夏を過ごしましょう。

阿南町公民館長 伊藤 幸一